



公明かすかべ

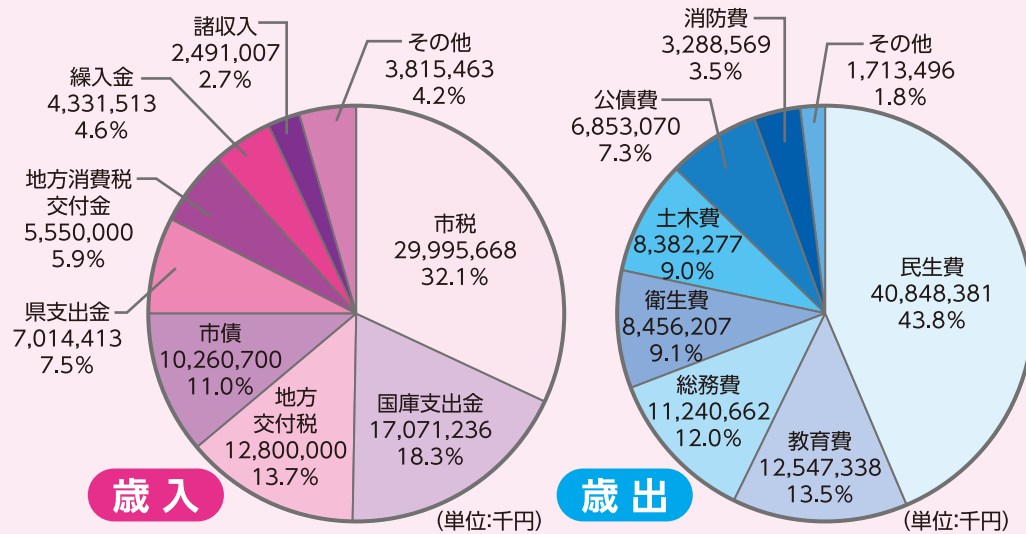
Komei Kasukabe-City



発行：公明党春日部市議会議員団 〒344-8577 埼玉県春日部市中央七丁目2番地1 Tel.048-736-1111 (代)

令和7年度一般会計予算額 過去最高 933億3,000万円

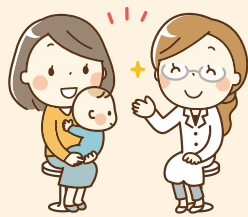
令和7年度は、合併後20年という佳節をむかえます。昨年、新庁舎への移転が完了し、鉄道高架事業等の大規模プロジェクトも順調に進行しています。春日部市が劇的に変わる重要な局面でもあります、令和7年度予算は「健幸プロジェクト」を中心に取り組み、本市の目指すまちの将来像「つながる にぎわう すまいるシティ 春日部」の実現に向けた予算編成となりました。



～公明党春日部市議団の要望が反映された主な施策～

① 妊産婦等支援事業

- 産婦健康診査の実施回数を1回から2回に拡充



② 産後ケア事業

- 宿泊型に加え、通所型、訪問型の産後ケアを拡充



③ 学校教育支援事業

- 水泳指導を民間に委託
- 統合型校務支援システムなどの導入



④ 基幹相談支援センター運営事業

- 統合的・専門的な相談や情報提供、助言を既存の障害福祉サービス事業所と連携調整を行い、障がい者等の地域での相談支援体制の充実を図る

⑤ 高齢者在宅福祉サービス事業

- 補聴器購入費の一部を補助
(対象は非課税世帯、上限2万円)

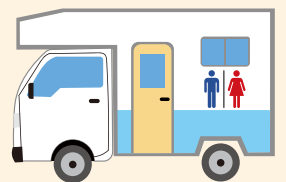
⑥ 国際交流推進事業

- 外国人職員の配置



⑦ 防災体制強化事業

- 防災体制の充実を図る
- 小型トイレカーの購入



⑧ ごみ収集運営事業

- ごみ分別アプリ及びごみ問合せ自動音声応答システムの導入



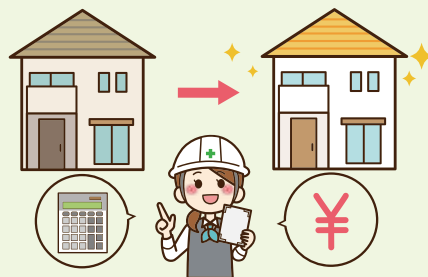
⑨ シティセールス推進事業

- クレヨンしんちゃんモニュメントを追加設置

…春日部市トピックス…

① 防犯カメラ設置補助事業を行います

国からの臨時交付金を活用し防犯カメラを設置する市民へ補助金を交付します。
1世帯1台の設置に防犯カメラ設置経費の1/2で上限額2万円になります。
詳細は4月号の広報かすかべでご確認ください。



② 住宅リフォーム助成事業の予算額を拡充します

個人住宅で実施する内外装工事・増築・浴室等の住宅改修に対する助成を令和7年度は国の臨時交付金を活用し10万円を上限に総額1,800万円分助成します。
詳細は4月号の広報かすかべでご確認ください。

③ 給食費の支援を行います

国からの臨時交付金を活用し、児童生徒の保護者に対する給食費の支援として4月・5月分を無償化し、物価高騰分支援としまして1年間給食費を追加せずに据え置きます。



公明党春日部市議団 市議会一般質問要旨

くりばら 信司 議員

国連気候変動枠組条約第29回
締約国会議(COP29)と
春日部市の取り組みについて

COP29は地球規模の話ですが、異常気象による大災害が世界中で起きています。千里の道も一歩から、的な発想が大事だと思います。自治体レベルでも成長と脱炭素を両立させるべきであり、春日部市として取り組むべきことについて伺いました。

答弁としては、市としては令和7年度から市民向けの再生可能エネルギー設備を導入する際の補助の拡充や、公共施設などに再生可能エネルギーを導入するなど、新たな春日部の姿を示すことにより、市域全域の排出量削減に繋げていきたいとありました。



あらき ひろみ 議員

職員の雇用について

民間企業の積極的な採用に影響を受け地方自治体の受雇者は低迷していく可能性が強まります。売り手市場の中で自治体が人材を獲得していくためには「採用拡大プロジェクト」を展開していくことが大切と考えます。同時に離職防止にも取り組む必要がありますが、本市の取り組み状況を伺いました。

答弁としては、若手職員のモチベーションの向上につなげる様々な取り組みを行ってまいります、とありました。



鈴木 かずとし 議員

春日部市の
ごみ収集について

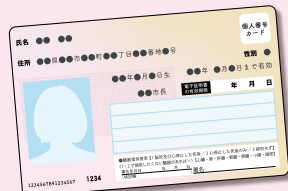
春日部市ではごみ収集のDX化の実証実験を開始しています。名称は収集しマースです。そこで収集しマースの旧庄和町での実証実験を受けての今後の展開について伺い、旧春日部市としてごみ集積所が約7000ヶ所ありますのでまずはデジタル化を進めその後に実証実験を行うとの答弁がありました。また近年の物価高騰を受けてごみ収集事業所への委託料の検討を要望しました。



木村 けい一 議員

マイナンバーカードを
利用した行政サービスの
拡充について

現在、マイナンバーカードを市民カード化し、住民サービスの拡充が図られ、いかない・書かない窓口への利用、また、様々なポイント事業への活用や、運転免許返納者・交通弱者に対するサービスへの利用ができたり、つくば市では、市の選挙で移動や自署が困難の方や高齢



者及び障害者で、ネット投票等を行っていますので、本市も、同様の拡充を図る事を要望しました。



藤原 ともこ 議員

奨学金返還
支援制度について

長引く物価高騰は奨学金の返還をしている方には、さらに厳しいものとなっています。

若者の定住促進や、企業の人材確保につなげることを目的としている県の「奨学金変換支援制度」があります。

現状は、奨学金返還支援をしている市内企業は少ないですが、県が支援している市内の企業に対して、市もその企業を支援すれば、県の制度を活用する企業が増えてくることも考えられることから、市の支援制度の創設を強く要望しました。



中村 たかあき 議員

グローバルスタディ
春日部版について

春日部市の子ども達は、得意分野をのばせる、自分のやりたい事をみつけられる学校、誰もが自分らしく強みを発揮する輝き教育を目指して欲しいと思っています。さいたま市の英語教育「グローバルスタディ」のように、日常的に小学校1・2年生から英語に触れさせる環境の充実を図る事は、子ども達の英語力の土台向上に繋がると考え、強く要望しました。今後の英語教育についても、グローバル・スタディの考え方を含めて本市の考えを教育長に伺ったところ、今後「春日部メソッド」の理念に基づき、英語教育においても「伝え合う活動」を授業で実践することを推進していく事を答弁頂きました。

